

同軸ケーブルストリッパー/同軸ケーブルストリッパー用カセット

COAXIAL CABLE STRIPPER

TLCS2

75Ωケーブル(同軸ケーブル)S5CFBを、製品に取付けるための寸法に加工します。

CASSETTE for COAXIAL CABLE STRIPPER

TLCS2-5CFB

同軸ケーブルストリッパー TLCS2に使用する、交換用カセットです。

カセット(TLCS2-5CFB)

加工寸法に応じて、向きを入換えたり、カセットの種類を変えたりします。

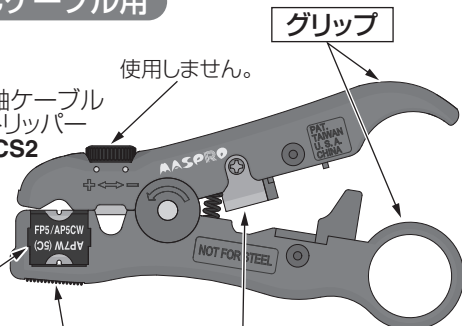


同軸ケーブル
ストリッパー用
カセット
TLCS2-5CFB

5Cケーブル用

取扱説明書

同軸ケーブル
ストリッパー
TLCS2



ケーブルカッター

- 75Ωケーブルをカットできます。
- 75Ωケーブルを溝にセットして、グリップを握ります。
- 不要な場合は、ドライバーでねじをゆるめて、取外してください。

あみ線(編組)返し

あみ線(編組)を折返し、整えます。

- 正しく安全にお使いいただくため、ご使用前に、この「取扱説明書」をよくお読みください。
- この「取扱説明書」は、いつでも見ることができるところに保管してください。

安全上のご注意

ご使用前に、この「安全上のご注意」をよくお読みください。

警告	●刃がついていますから、取扱いには注意してください。 ●刃に直接触れないでください。けがの原因となります。 ●活線には使用しないでください。感電の原因となります。
注意	●子供の手の届かない場所に保管してください。事故の原因となることがあります。 ●作業中、刃先には充分気を付けてください。指を挟む恐れがあります。 ●本製品をハンマーで叩くなど、無理な力を加えないでください。破損や事故の原因となることがあります。 ●本製品を分解したり改造したりしないでください。破損や事故の原因となることがあります。 ●保護手袋を着用の上、ご使用ください。

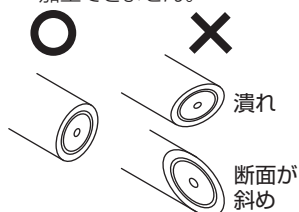
使用上のご注意

- 対応するケーブル以外には使用しないでください。工具が破損する原因となることがあります。
- カセットは、同軸ケーブルストリッパー TLCS2以外には使用しないでください。
- 刃を長持ちさせるために、湿気や汚れを避けてください。刃先のさびを防ぐため、水に触れたり汚れたりした場合、できるだけ早く拭き取ってください。
- 火に近づけたり、高温になる場所に放置したりしないでください。変形や破損の原因となることがあります。

ケーブルの加工方法 (TLCS2)

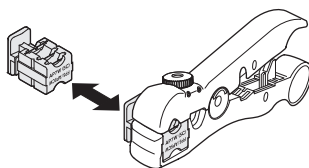
① 75Ωケーブルを同心円状に整形します。

- 75Ωケーブルが潰れているなど、変形していると正しく加工できません。



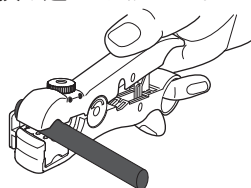
② 使用する製品の加工寸法に応じて、カセットの向き、種類を入換えます。

- 下記「カセットの交換方法」をご覧ください。

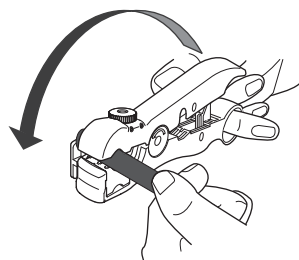


③ グリップを握り、カセットと本体の溝に75Ωケーブルをセットします。

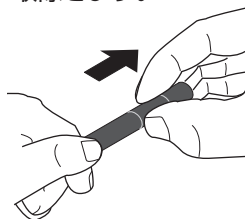
- セットした後に、本体の先をつまみ、ケーブルを刃に挟み込んでください。



④ 75Ωケーブルを持ち、本体を矢印の方向に数回転させます。



⑤ 75Ωケーブルを外し、指でカットした部分を取除きます。



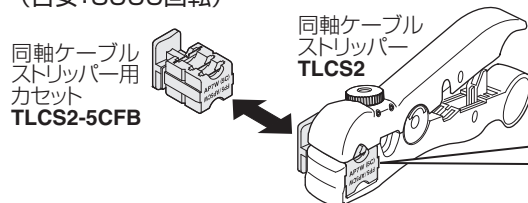
⑥ 加工した75Ωケーブルを製品に取付けます。

- 取付方法に関しては、製品の取扱説明書をご覧ください。

⑦ 加工後、75Ωケーブルの芯線が長い場合、芯線を適切な長さにカットします。

カセットの交換方法 (TLCS2-5CFB)

- 使用する製品の加工寸法に応じて、カセットの向き、種類を入換えます。
- カセットは、同軸ケーブルストリッパーの横からスライドして着脱できます。
- カセットの刃が消耗したら、交換してください。
(目安: 3000回転)



カセットの向き	加工寸法

交換部品 (別売品)

同軸ケーブルストリッパー用カセット

- カセットの種類については、当社ホームページをご覧ください。

＝マspro電工＝

本社 〒470-0194 愛知県日進市浅田町上納80

営業部 TEL名古屋 (052) 802-2244

受付時間 9～17時45分 (土・日・祝日、当社休業日を除く)

インターネット www.maspro.co.jp

製品向上のため 仕様・外観は変更することがあります。

技術相談



ナビダイヤル。固定電話からは全国一律料金でご利用いただけます

IP電話などナビダイヤルが利用できない電話からは **052-805-3366**

受付時間 9～12時、13～17時 (土・日・祝日、当社休業日を除く)

APR., 2019